

MVC-IP2018

IPストリーミング対応
ビデオウォールコントローラ

EIA4U

標準価格:オープン価格



MVC-IP2018は、マトリクススイッチャー、マルチビジョンプロセッサ、各種スキャンコンバータ、システムコントローラ等の全ての機能を搭載しIPストリームに対応したビデオウォールコントローラです。

消防防災・警察・交通管制・河川ダム等の監視システムをはじめ、会議室や教室、デジタルサイネージ等のあらゆる分野でご活用いただけます。

各種入出力ボードを準備しております。詳しくは営業までお問い合わせ下さい。

RoHS対応

問い合わせ 0467-33-8019 / <http://www.meiko-iv.com>

特長

- レイアウトフリー
入カソースをレイアウトフリーでビデオウォールにリアルタイム表示が可能
1画面の中での分割・合成表示やマルチ画面の中でのオーバーレイ表示が可能
- IPビデオストリーム入力に対応
HDMI入力及び、IPビデオストリーム入力(H.264)に対応。最大で20系統のHDMI及び40系統のIPビデオストリームの入力が可能 ※1※2
- リモートマウス
出力映像の中にカーソルを表示させて入カソースの拡大縮小、移動、及び表示パターンの登録、切替等の操作が直接可能
- Window10対応
OSはWindows10 IoT Enterprise LTSC 64Bit Japanese に対応
- 用途に応じたコントロールソフトを準備
出力映像の中で直感的なコントロールが可能な「MVCダイレクトコントローラ」
画像のトリミングなど表示パターンの作成が可能な「MVCパターン設定ソフト」

※1 最大ボード構成及びIPビデオストリームが1920×1080@60Hzの場合
※2 IPビデオストリームはマルチベンダー対応

仕様

本体仕様	OS	Microsoft Windows 10 IoT Enterprise LTSC 64bit Japanese
	CPU	Xeon E5-1650V4 (3.6GHz BDW-EP 6C/12T 15MB)
入力	HDMI	Mini HDMI×20系統 4096×2160@60Hz (4:2:0)
	IPビデオストリーム入力	H.264/MPEG-4 AVC RJ-45 3840×2160@60Hz
出力制御	HDMI	Mini HDMI×18系統 1920×1200@60
	LAN	10/100/1000 Mbps Ethernet RJ45
機能	最大入力数	HDMI×20系統、IPビデオストリーム×40系統(1920×1080@60Hzの場合)
	最大出力数	18面
	リモートマウス機能	出力映像の中で操作可能
	入力名称表示機能	入力映像ソース毎に名称表示設定が可能
	ローテート機能	入力ソース毎、及び出力で90、180、270度の回転が可能
環境条件その他	使用温度/湿度	0~35℃/5~90% (結露なきこと)
	電源電圧	AC100V~240V±10% 50/60Hz
	消費電力	620W
	重量	約22kg
	外形寸法	440(W)×177(H)×500(D)mm EIA4Uサイズ (突起物を除く)
	付属品	ACケーブル、ラックマウント金具
	対応ソフト	MVCダイレクトコントローラ、MVCパターン設定ソフト
	その他	電源冗長化 RAID1(オプション) 各種ソフトウェアのカスタマイズ(お客様製品との連携等)(オプション)

